



平成 19 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社AOKIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 拓 憲
(コード番号 8214 東証・大証第一部)
問合せ先 専務取締役 中 村 憲 侍
(TEL 045-941-1388)

会 社 名 株式会社ヴァリック
代表者名 代表取締役社長 栗田 宏
(コード番号 2387 JASDAQ)
問合せ先 常務取締役管理本部長 菅谷 信一
(TEL 045-590-4888)

会 社 名 株式会社ラヴィス
代表者名 代表取締役社長 石坂 勝美
(コード番号 2465 JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 小熊 靖史
(TEL 03-3570-0233)

株式会社AOKIホールディングスによるAOKIカンパニー部門及びORIHICAカンパニー部門の会社分割並びに株式会社AOKIホールディングスによる株式会社ヴァリック及び株式会社ラヴィスの株式交換による完全子会社化に関する契約締結のお知らせ

(純粋持株会社体制への移行に関するお知らせ)

株式会社AOKIホールディングス(以下、「AOKIホールディングス」といいます。)は、平成19年11月15日開催の取締役会において、AOKIホールディングスを分割会社とする分社型新設分割(以下、「本件分割」といいます。)により、一部の戦略機能を除く全事業を新たに設立する会社に承継し、純粋持株会社体制に移行することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、AOKIホールディングスと株式会社ヴァリック(以下、「ヴァリック」といいます。)及び株式会社ラヴィス(以下、「ラヴィス」といいます。)は、平成19年11月15日開催の各社取締役会において、上記AOKIホールディングスの純粋持株会社体制導入にあわせ、AOKIホールディングスを完全親会社、ヴァリック及びラヴィスを完全子会社とする株式交換(以下、「本株式交換」といいます。)を実施することを決議し、同日付けで株式交換契約を締結いたしましたので、あわせて下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 純粋持株会社体制の導入について(会社分割及び株式交換の目的)

1. AOKIホールディングス

AOKIホールディングスは、日本経済が高度成長期を迎えた昭和33年に、「ビジネスマ

ンが日替わりでスーツを着られる世の中にしたい」との想いを原点に創業し、以来「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」の3つの経営理念を掲げ、時代の移り変わりのなかで、つねにお客様のご要望や時代のニーズを企業課題として捉え、その解決によって社会貢献してまいりました。

そして創業から半世紀を経た現在では、人々の価値観が多様化しており、パートナーや家族、仲間との時間など、人生のさまざまな場面で、生命を美しく輝かせる機会が増加しております。

こうした社会の変化に対応し、より多くのシーンでお客様のご要望にお応えできるように努めてまいりました結果が、エンターテイメント、ブライダルといった新分野への事業拡大として結実しております。

また、平成18年4月に新たなステージに相応しい企業グループへと成長すべく、事業持株会社体制を採用いたしました。急速な経済・社会のグローバル化の中で時代の変化が激しさを増し、先行きの不透明感が増す経営環境においては、より一層経営の戦略性と機動性を高めて、各々の事業の成長性のみならず、グループ全体の効率性を追及し経営資源の最適化を実現しなければならないとの認識に至りました。かかる認識に基づき、AOKIホールディングスは、経営・管理と事業執行の機能を分化させ、それぞれの役割・責任を明確にするために、今般、純粋持株会社体制を採用することといたしました。

また、グループ内でエンターテイメント事業を展開するヴァリック、ブライダル事業を展開するラヴィスの各社は、上記のAOKIホールディングスの純粋持株会社体制への移行に伴い、経営資源を一元化して、それぞれの事業環境に適応すべく再配分することにより、企業グループのシナジーを最大化させることが可能となるなど、今まで以上に株主の皆様への期待に報いることができるものと確信し、AOKIホールディングスを完全親会社とする株式交換を実施することを決議いたしました。

企業グループ内において、純粋持株会社であるAOKIホールディングスはグループ全体の経営、管理、社会的責任の遂行を担い、各グループ事業子会社は、事業執行に集中することで、経営の更なるスピードアップ、効率性の向上、専門性の追求を図ってまいります。

以上の経営体制の再構築を通じて、今後も既成概念にとらわれずイノベーションを続ける企業グループとして、社会に貢献できる事業の創造と推進をめざし、連結ベースでの企業価値向上に邁進いたします。

2. ヴァリック及びラヴィス

AOKIホールディングスの連結子会社であるヴァリックは、同社企業グループにおける3大事業である「ファッション事業・エンターテイメント事業・ブライダル事業」のうち、エンターテイメント事業を担う中核会社として、カラオケルーム、複合カフェ等の娯楽施設の運営を行っており、「お客様のくつろぎと元気のある生活をお手伝いしたい」という企業コンセプトのもとカラオケ・パーティースペース「コート・ダジュール」と複合カフェ「快活CLUB」等を全店舗直営展開にて一般消費者向けにサービスの提供を行っております。

また、AOKIホールディングスの連結子会社であるラヴィスは、上記のグループにおける3大事業のうち、ブライダル事業を主要ドメインとした事業活動を行っており、挙式及び披露宴に関する企画・立案・運営等のサービス提供を事業内容としております。ラヴィスの運営する挙式披露宴施設は、独立型チャペルとヨーロッパの建築様式を取り入れたガーデン付ゲストハウス（披露宴施設）を基本スタイルとして、お客様のご希望に沿ったオリジナル性の高い披露宴パーティーをご提供しております。

近年、日本経済における急速なグローバル化の進展に伴い、企業は新たな経営戦略と機動力の強化に向けた変革が要求されております。このような状況に適切に対応していくために

は、企業の経営活動の効率性を最大限に高めるとともに、経営資源の一元化と適正な再配分を行い、事業環境の変化に対処し、イノベーションを継続していくことが必要です。

ヴァリック及びラヴィスは、ジャスダック証券取引所に株式を上場して以来、経営の独立性の確保、内部管理体制の強化、優秀な人材の確保、業容の拡大といった一定の成果を収めてまいりましたが、昨今の経営環境の変化へ適切に対応し、さらなる成長をスピードをもって進めていくためには、親会社であるAOKIホールディングスの完全子会社となることで、グループの総合力を最大限に活用していくことが必須であると判断しております。

かかる観点から、株式上場後比較的短期間ではございますが、この度株式交換の実施により親会社であるAOKIホールディングスの完全子会社となることを決議するとともに、同社との間で株式交換契約を締結いたしました。

両社は、上記の変革に対応していくことが経営の最重要課題の一つであると認識しており、本株式交換を通じて、企業グループのシナジーを最大限に発揮し、事業の執行に集中することにより、経営の効率化が図れるとともに、さらなる成長が可能になると判断しております。

また、本株式交換は、ヴァリック及びラヴィスのそれぞれの株主の皆様にとっても、対価として東京証券取引所、大阪証券取引所に株式を上場しているAOKIホールディングスの株式を利用するため、同社の株式を通じて、引き続き市場でお取引いただくことが可能であり、その市場性、換価可能性も確保されているものと判断しております。なお、本株式交換に伴い、単元未満株式が生じることとなる株主の皆様におかれましては、単元未満株式の買増制度、買取制度をご利用いただくことが可能です。詳細は3社が本日別途開示しております「株式交換に伴う株式のお取り扱いについて」をご参照ください。

今後、純粋持株会社となるAOKIホールディングスがグループ全体の経営・管理・社会的責任の遂行を担い、ヴァリック及びラヴィスはそれぞれ事業の執行に集中することで、より一層経営の戦略性と機動性を高め、企業グループ全体として経営の更なるスピードアップと効率性の向上、専門性の追求を図り、グループトータルの企業価値を高めていくことで、それぞれの株主の皆様のご期待にこたえてまいります。

なお、本株式交換によりヴァリック及びラヴィスの株式は、平成20年3月26日をもってジャスダック証券取引所において上場廃止となる予定です。上場廃止後は両社の株式をジャスダック証券取引所において取引することはできません。対価として交付するAOKIホールディングスの株券の交付日は平成20年5月中旬を想定しております。

II. 会社分割について

1. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

| | |
|--------------------|----------------|
| 分割決議取締役会 | 平成19年11月15日(木) |
| 株主総会基準日 | 平成19年12月10日(月) |
| 分割承認株主総会 | 平成20年2月7日(木) |
| 分割の効力発生日(新会社設立登記日) | 平成20年4月1日(火) |

(2) 分割方式

AOKIホールディングスを分割会社とし、株式会社AOKI(以下、「AOKI」といいます。)及び株式会社オリヒカ(以下、「オリヒカ」といいます。)を新設分割設立株式会社とする新設分割です。

なお、AOKIホールディングスは本件分割後に純粋持株会社となりますが、引き続き東京証券取引所第一部、大阪証券取引所第一部への上場を継続することになります。

(3) 分割により減少する資本金等

本件分割により、AOKIホールディングスの資本金に変動はありません。

(4) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

本件分割に際して、AOKIホールディングスが発行している新株予約権の取扱いに変更はありません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

AOKIは、平成19年11月15日付の分割計画書に別段の定めのあるものを除き、本件分割の効力発生日（以下、「本件分割期日」といいます。）において、AOKIホールディングスがAOKIブランドによる紳士服等の販売事業のために有する一切の資産及び権利、本件分割期日においてAOKIホールディングスが上記の事業のために負担する一切の債務及び義務並びにこれらに係る一切の契約上の地位を承継します。

オリヒカは、平成19年11月15日付の分割計画書に別段の定めのあるものを除き、本件分割期日において、AOKIホールディングスがORIHICAブランドによる紳士服等の販売事業のために有する一切の資産及び権利、本件分割期日においてAOKIホールディングスが上記の事業のために負担する一切の債務及び義務並びにこれらに係る一切の契約上の地位を承継します。

(6) 債務履行の見込み

① AOKIホールディングス

各新設分割後のAOKIホールディングスの資産、負債及び純資産の額を算定した結果、債務の履行を確保する為に十分な純資産が存在することが見込まれ、債務の履行に支障をきたす事象の発生及びその可能性は現在のところ認識されておりません。よって本件分割後においても、AOKIホールディングスが負担すべき債務につき履行の見込みがあるものと判断しております。

② AOKI及びオリヒカ

本件分割により、AOKIホールディングスより承継する資産の額は承継する負債の額を十分に上回ることが想定され、本件分割後の事業活動においてAOKI及びオリヒカが負担する債務の履行に支障をきたす事象の発生及びその可能性は、現在のところ認識されておりません。よって、両社において、各新設分割により承継した債務につき履行の見込みがあるものと判断しております。

2. 分割当事会社の概要（平成19年9月30日現在）

| | |
|---------------|---|
| (1) 商号 | 株式会社AOKIホールディングス |
| (2) 事業内容 | 紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画、販売 記念日を軸とした商品の販売並びにサービスの提供他 |
| (3) 設立年月日 | 昭和51年8月21日 |
| (4) 本店所在地 | 東京都港区北青山三丁目5番30号 |
| (5) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 青木 拓憲 |
| (6) 資本金 | 23,282百万円 |
| (7) 発行済株式数 | 49,124,752株 |
| (8) 純資産 | 93,095百万円（連結） |

| | | | |
|------|----------------------|----------------------------|--------|
| (9) | 総 資 産 | 142,482 百万円 (連結) | |
| (10) | 決 算 期 | 3 月 31 日 | |
| (11) | 大 株 主 及 び 持 株 比 率 | 株式会社アニヴェルセル HOLDINGS | 36.00% |
| | | ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー | 5.20% |
| | | 青木 拓憲 | 4.33% |
| | | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 3.61% |
| | | 青木 寶久 | 3.40% |

3. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

AOKIブランド及びORIHICAブランドによる、紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画、販売事業

(2) 分割する部門の経営成績

| | AOKI カンパニー(a) | ORIHICA カンパニー(b) | 平成 19 年 3 月期実績(c) | 比率(a/c) | 比率(b/c) |
|---------|------------------|---------------------|----------------------|---------|---------|
| 売 上 高 | 72,573 百万円 | 3,875 百万円 | 112,143 百万円 | 64.7% | 3.5% |
| 営 業 利 益 | 7,950 百万円 | △324 百万円 | 10,889 百万円 | 73.0% | －% |

(注) ORIHICAカンパニーの平成 19 年 3 月期の営業利益は、新規出店 15 店舗に伴う初期費用の増加等により営業損失となっております。

(3) 分割する資産、負債の項目及び金額 (平成 19 年 9 月 30 日現在)

株式会社AOKI (AOKIブランドによる、紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画、販売)

| 資 産 | | 負 債 | |
|------|------------|------|-----------|
| 項目 | 帳簿価額 | 項目 | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 20,899 百万円 | 流動負債 | 6,077 百万円 |
| 固定資産 | 40,848 百万円 | 固定負債 | 879 百万円 |
| 合計 | 61,748 百万円 | 合計 | 6,956 百万円 |

株式会社オリヒカ (ORIHICAブランドによる、紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画、販売)

| 資 産 | | 負 債 | |
|------|-----------|------|---------|
| 項目 | 帳簿価額 | 項目 | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 1,295 百万円 | 流動負債 | 122 百万円 |
| 固定資産 | 1,780 百万円 | 固定負債 | 42 百万円 |
| 合計 | 3,075 百万円 | 合計 | 164 百万円 |

(注) 分割する資産、負債については、平成 19 年 9 月 30 日現在の見込み数値です。上記金額に本件分割期日までの増減を調整した上で確定いたします。

4. 新設分割新設会社の状況

| | | |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) 商 号 | 株式会社AOKI | 株式会社オリヒカ |
| (2) 事 業 内 容 | 紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売 | 紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売 |
| (3) 本 店 所 在 地 | 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 | 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 |
| (4) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 清水 彰 | 代表取締役社長 青木 彰宏 |
| (5) 資 本 金 | 100 百万円 | 100 百万円 |
| (6) 決 算 期 | 3月31日 | 3月31日 |

III. 株式交換について

1. 株式交換比率の公正性を担保するための措置

AOKIホールディングス、ヴァリック及びラヴィスは当該株式交換に際して、株式交換比率の公正性を担保することを目的として、AOKIホールディングスは野村証券株式会社（以下、「野村証券」といいます。）を、ヴァリック及びラヴィスはPwCアドバイザリー株式会社（以下、「PwC」といいます。）を株式交換比率の算定に関するそれぞれの第三者機関として選定しております。

2. 利益相反を回避する措置

AOKIホールディングスの取締役2名は、ラヴィスの取締役を兼務しているため、利益相反を回避することを目的として、ラヴィスの取締役会における株式交換契約書締結に関する議案の採決にあたり、決議に参加しておりません。

3. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程（予定）

| | |
|-------------------------------|----------------|
| 株式交換決議取締役会（3社） | 平成19年11月15日（木） |
| 株式交換契約締結（3社） | 平成19年11月15日（木） |
| 臨時株主総会基準日設定公告 （ヴァリック、ラヴィス） | 平成19年11月16日（金） |
| 臨時株主総会基準日（ヴァリック、ラヴィス） | 平成19年12月10日（月） |
| 株式交換承認臨時株主総会 （ヴァリック、ラヴィス） | 平成20年2月7日（木） |
| 整理ポスト割当て（ヴァリック、ラヴィス） | 平成20年2月8日（金） |
| 上場廃止日（ヴァリック、ラヴィス） | 平成20年3月26日（水） |
| 株式交換効力発生日 | 平成20年4月1日（火） |
| 株券交付日（AOKIホールディングス） | 平成20年5月中旬（予定） |

（注）AOKIホールディングスは、本株式交換については、会社法第796条第3項に基づき、株主総会の承認を必要としない「簡易株式交換」の手続きにより行います。

(2) 株式交換比率

| 会社名 | AOKIホールディングス (完全親会社) | ヴァリック (完全子会社) | ラヴィス (完全子会社) |
|--------|-------------------------|------------------|-----------------|
| 株式交換比率 | 1 | 70 | 50 |

(注) 1. 株式の割当比率

ヴァリックの株式1株に対して、AOKIホールディングスの株式70株を、ラヴィスの株式1株に対して、AOKIホールディングスの株式50株を割当て交付します。ただし、AOKIホールディングスが保有するヴァリック株式31,000株及びラヴィス株式78,000株については、本株式交換による株式の割当ては行いません。なお、本株式交換に伴い、単元未満株式が生じることとなる株主の皆様におかれましては、単元未満株式の買増制度、買取制度をご利用いただくことが可能です。詳細は3社が本日別途開示しております「株式交換に伴う株式のお取り扱いについて」をご参照ください。

2. 株式交換により発行する新株式数等

AOKIホールディングスは、保有する自己株式2,366,940株を本株式交換による株式の割当てに充当し、新株式の発行はいたしません。

(3) 株式交換比率の算定根拠等

① 算定の基礎及び経緯

本株式交換の株式交換比率の公正性・妥当性を確保するため、AOKIホールディングスは野村證券を、ヴァリック及びラヴィスはPwCを、株式交換比率の算定に関する第三者機関としてそれぞれ選定いたしました。

野村證券は、AOKIホールディングス、ヴァリック及びラヴィスのそれぞれについて、市場株価平均法、ディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」といいます。）、類似会社比較法の各評価方法を採用し算定を行い、当該算定結果に基づき、AOKIホールディングスの1株当たり株式価値を1とした場合の株式交換比率を以下のように算定いたしました。

| | 株式交換比率の評価レンジ | |
|---------|--------------|-------------|
| | ヴァリック | ラヴィス |
| 市場株価平均法 | 43.69～53.07 | 33.10～39.80 |
| DCF法 | 55.06～77.43 | 34.62～57.04 |
| 類似会社比較法 | 27.00～47.02 | 44.27～69.54 |

市場株価平均法では、平成19年11月12日を算定基準日とし、基準日の終値、AOKIホールディングス及びヴァリックによる平成20年3月期中間期及び通期業績予想の修正公表後基準日までの平均株価、基準日までの直近1ヵ月間、及び直近3ヵ月間の平均株価に基づき算定を行いました。

PwCは、AOKIホールディングス、ヴァリック及びラヴィスのそれぞれについて、市場株価基準方式、DCF方式及び類似会社基準方式による算定を行いました。当該算定結果に基づき、AOKIホールディングスの1株当たり株式価値を1とした場合の株式交換比率を以下のように算定いたしました。

| | 株式交換比率の評価レンジ | |
|----------|--------------|-------------|
| | ヴァリック | ラヴィス |
| 市場株価基準方式 | 43.69～52.09 | 33.11～36.68 |
| D C F 方式 | 64.20～86.93 | 47.16～64.53 |
| 類似会社比準方式 | 41.71～57.06 | 46.30～57.60 |

市場株価基準方式では、平成 19 年 11 月 12 日を算定基準日とし、基準日までの直近 6 ヶ月間、直近 3 ヶ月間、及び直近 1 ヶ月間の平均株価に基づき算定を行いました。

なお、野村証券及び P w C が D C F 法の前提とした各社の将来の利益計画においては、大幅な増減益（前事業年度と比較して 30 %以上の利益の増加又は減少）は見込まれておりません。

また A O K I ホールディングス、ヴァリック、ラヴィスの各社はそれぞれの算定機関から株式交換比率の公正性に関する評価は取得しておりません。

A O K I ホールディングス、ヴァリック、ラヴィスの各社は、それぞれ第三者機関による分析結果を慎重に検討し、また各社の財務状況、業績動向、株価動向等のその他の要因を含め慎重に協議・交渉を進めた結果、平成 19 年 11 月 15 日に開催された各社の取締役会において、本株式交換における株式交換比率を合意・決議し、同日株式交換契約書を締結いたしました。かかる株式交換比率は、野村証券が A O K I ホールディングスに対して提供した算定結果並びに P w C がヴァリック及びラヴィスに対して提供した算定結果の範囲内で決定されたものです。

② 算定機関との関係

算定機関である野村証券及び P w C は、A O K I ホールディングス、ヴァリック及びラヴィスの関連当事者には該当いたしません。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ヴァリック及びラヴィスが発行している新株予約権につきましては、本株式交換の効力発生日の前日までに、その全てを無償にて取得、消却する予定です。なお、ヴァリック及びラヴィスによる新株予約権付社債の発行はありません。

3. 株式交換当事会社の概要（平成19年9月30日現在）

| | | | |
|----------------|---|--|--|
| (1) 商号 | 株式会社AOKI ホールディングス | 株式会社ヴァリック | 株式会社ラヴィス |
| (2) 事業内容 | 紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画、販売 記念日を軸とした商品の販売並びにサービスの提供他 | カラオケルーム、複合カフェ、フィットネスクラブ、スパ等施設の運営他 | 結婚式場及び披露宴会場の運営他 |
| (3) 設立年月日 | 昭和51年8月21日 | 平成8年3月1日 | 昭和61年6月19日 |
| (4) 本店所在地 | 東京都港区北青山三丁目5番30号 | 神奈川県横浜市都筑区北山田三丁目1番50号 | 東京都江東区有明三丁目1番9号 |
| (5) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 青木 拓憲 | 代表取締役社長 栗田 宏 | 代表取締役社長 石坂 勝美 |
| (6) 資本金 | 23,282百万円 | 483百万円 | 1,041百万円 |
| (7) 発行済株式数 | 49,124,752株 | 47,792株 | 101,830株 |
| (8) 純資産 | 93,095百万円（連結） | 2,704百万円（非連結） | 5,085百万円（非連結） |
| (9) 総資産 | 142,482百万円（連結） | 14,035百万円（非連結） | 15,535百万円（非連結） |
| (10) 決算期 | 3月31日 | 3月31日 | 3月31日 |
| (11) 従業員数 | 2,570名（連結） | 349名（非連結） | 416名（非連結） |
| (12) 主要取引先 | 住金物産(株) NI 帝人商事(株) フレックスジャパン(株) | 高瀬物産(株)、東亜商事(株)、日本ペプシコーラ販売(株)、(株)第一興商、(株)エクシング、(株)BMB | 高見(株)、(株)花弘、(株)長沼、リンバル(株)、(株)オフィスマリアージュ |
| (13) 大株主及び持株比率 | (株)アークセル HOLDINGS 36.00% ステートストリートバンクアントラストカンパニー 5.20% 青木 拓憲 4.33% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)（信託口） 3.61% 青木 寶久 3.40% | (株)AOKI ホールディングス 64.86% 日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口） 5.62% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)（信託口） 4.18% (株)横浜銀行 2.51% (株)八十二銀行 2.00% | (株)AOKI ホールディングス 76.60% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)（信託口） 1.69% 立原 佳和 1.33% 日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口） 0.86% ラヴィス従業員持株会 0.85% |
| (14) 主要取引銀行 | (株)横浜銀行、(株)みずほ銀行、(株)八十二銀行、(株)北陸銀行、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行 | (株)横浜銀行、(株)八十二銀行、(株)みずほ銀行、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行(株) | (株)横浜銀行、(株)三井住友銀行、(株)みずほ銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)八十二銀行 |
| (15) 当事会社間の関係等 | 資本関係 | AOKIホールディングスは、ヴァリック株式の64.86%、ラヴィス株式の76.60%を保有しております。 | |
| | 人的関係 | AOKIホールディングスの取締役2名は、ラヴィスの取締役を兼務しております。 | |
| | 取引関係 | AOKIホールディングスは、ヴァリック及びラヴィスに対し、土地、建物の賃貸を行っております。 | |
| | 関連当事者への該当状況 | ヴァリック及びラヴィスは、AOKIホールディングスの連結子会社です。 | |

(16) 最近3年間の業績

(単位:百万円)

| 決算期 | AOKIホールディングス (完全親会社) (連結) | | | ヴァリック (完全子会社) (非連結) | | | ラヴィス (完全子会社) (非連結) | | |
|-------------------|---------------------------------|--------------|--------------|---------------------------|--------------|--------------|--------------------------|--------------|--------------|
| | 平成17年 3月期 | 平成18年 3月期 | 平成19年 3月期 | 平成17年 3月期 | 平成18年 3月期 | 平成19年 3月期 | 平成17年 3月期 | 平成18年 3月期 | 平成19年 3月期 |
| 売上高 | 92,870 | 106,686 | 112,143 | 8,630 | 12,934 | 17,403 | 10,738 | 15,164 | 16,969 |
| 営業利益 | 6,980 | 10,163 | 10,889 | 645 | 1,382 | 1,302 | 973 | 1,666 | 1,946 |
| 経常利益 | 7,808 | 11,110 | 11,749 | 611 | 1,323 | 1,284 | 948 | 1,612 | 1,925 |
| 当期純利益 | 3,128 | 5,431 | 5,151 | 164 | 434 | 453 | 793 | 716 | 868 |
| 1株当たり 当期純利益(円) | 67.45 | 116.33 | 114.47 | 12,639.98 | 17,108.94 | 18,989.04 | 19,917.47 | 15,387.36 | 8,528.42 |
| 1株当たり 配当金(円) | 12 | 24 | 27 | 3,000 | 2,000 | 2,000 | - | 1,000 | 700 |
| 1株当たり 純資産(円) | 1,824.58 | 1,922.96 | 2,000.75 | 128,440.82 | 79,830.20 | 96,820.07 | 30,758.96 | 76,685.27 | 46,106.88 |

Ⅲ. 会社分割及び株式交換後の状況

1. 会社分割及び株式交換後の上場会社(完全親会社)の状況(連結)

| | |
|---------------|--|
| (1) 商 号 | 株式会社AOKIホールディングス |
| (2) 事 業 内 容 | グループ会社の経営管理、並びにそれに付帯する業務 記念日を軸とした商品の販売並びにサービスの提供他 |
| (3) 本 店 所 在 地 | 東京都港区北青山三丁目5番30号 |
| (4) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 青木 拡憲 |
| (5) 資 本 金 | 23,282百万円 |
| (6) 純 資 産 | 未定 |
| (7) 総 資 産 | 未定 |
| (8) 決 算 期 | 3月31日 |

(9) 本株式交換の会計処理の概要

本株式交換は、共通支配下の取引等のうち少数株主との取引に該当し、AOKIホールディングスの連結財務諸表上、のれんが発生する見込みです。発生したのれんについては、その効果が発現すると見積られる期間において定額法により償却を行う予定ですが、詳細は確定次第お知らせいたします。

(10) 会社分割及び株式交換による業績への影響の見通し

本件分割は、完全子会社を設立する新設分割であるため、連結業績に与える影響は軽微です。また、本株式交換がAOKIホールディングス、ヴァリック及びラヴィスの業績に与える影響は、現時点では未定です。詳細は確定次第お知らせいたします。

以 上

[別添] 純粋持株会社体制への移行スキームの概念図

